

平成25年 第1回

教育委員会定例会会議録

平成25年1月9日

中央区教育委員会

平成25年第1回教育委員会定例会会議録

開会日時 平成25年1月9日(水) 午後4時00分

場 所 中央区役所6階会議室

出席委員 中央区教育委員会委員長 永嶋久子  
委 員 竹田圭吾  
委 員 松川昭義  
委 員 鈴木ゆか  
教育長 齊藤 進

説明のために出席した事務局職員

次 長 新治 満  
庶務課長 有賀重光  
副 参 事 森下康浩  
学務課長 林 秀哉  
指導室長 増田好範  
統括指導主事 山崎 隆  
統括指導主事 伊藤 聡  
図書文化財課長 粕谷昌彦

書 記 中央区教育委員会事務局

庶務係長 眞下一弘  
庶務係員 島田由美子

開 議 午後4時00分永嶋委員長開会宣言

会議規則第30条による署名委員

委員長 永嶋久子  
委 員 鈴木ゆか

日程第1 報告事項  
各課事業報告について

- 委員長 ただいまから、平成25年第1回教育委員会定例会を開会いたします。  
新春の第1回の委員会にあたりまして、私から一言ご挨拶をさせていただきます。
- あらためまして、皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。
- 特別に新年の挨拶は用意してなかったのですが、新年早々いじめの問題がまた出てまいりまして、特に去年は毎日のようにいじめ問題の報道があり、平成25年は、良くなっていくのではないかと実は期待をしていたのですが、新春早々、しかも、先生によるいじめと言っても過言ではないと思いますが、高校生が自ら尊い命を落とされたということで、悲しい思いをしております。
- 是非、中央区ではこういう事件が起こらないように気を引き締めて、そして、問題が生じた場合には、迅速に対応していかねばいけないということ強く感じました。
- 新春の挨拶にはふさわしくないかもわかりませんが、どうぞよろしく願いしたいと思います。
- それでは、会議を進めます。
- まず、本日の会議録の署名委員の指名をいたします。本日は、鈴木委員にお願いします。
- それでは、本日の日程に入ります。
- 日程第1、報告事項のうち資料1について報告願います。
- 指導室長 「平成24年度区立学校の卒業式及び平成25年度入学式の日程」について資料1により報告
- 委員長 ただいまの報告について、ご質問等ございましたらお伺いいたします。  
(「なし」の声あり)
- 委員長 それでは、引き続き資料2について、報告をお願いいたします。
- 学務課長、図書文化財課長 「意見・要望」について資料2により報告
- 委員長 ありがとうございます。ただいまの報告について、ご質問等ございましたらお伺いをいたします。よろしいでしょうか。  
(「なし」の声あり)
- 委員長 ご質問等ないようでございますので、これで、本日の日程は全て終了いたしました。委員の方々からご意見等ございましたらお伺いいたします。
- 松川委員 昨年、新聞でアレルギーの児童が亡くなった記事が掲載されておりました。この問題は、切り口によっては議論が出てくるころであろうと思います。まず、中央区の現状というか、学校において給食の提供にあたって食物アレルギーのある子どもの把握や対策をどのようにしているのでしょうか。
- 学務課長 現在、食物アレルギーのある児童の数というのは、近年増加傾向にござい

ます。アレルギーの対象食品で申し上げますと、卵、乳製品、魚ですとか木の実、ナッツなど相当多岐にわたっている状況でございます。学校におきましては、国のガイドラインに基づきまして、保護者の方から、そのアレルギーの状況と医師の診断結果などを記載した学校生活管理指導表を学校に提出していただき、それに基づいて確認をさせていただいて管理をしております。

昨年9月時点の数値でございますけれども、幼稚園で30名、小学校では143名、中学校では13名がこの学校生活管理指導表を提出していただいています。

今回の事故が食物というところでございまして、食物アレルギーにつきましましては、除去食ということで、口にしないというのが最善の対応策でございますけれども、給食においては、除去食対応ということを原則としておりまして、小学校では指導表を提出いただいている児童のうち、除去食の対応をしているのは129名、中学校では11名が除去食対応をしているという状況でございます。

松川委員

結構多くのアレルギーのある子どもたちがいるというのは、今の説明でわかったのですけれども、今回の事件でおかわりを間違っただけで済んだというのでは、勘違いだとかでこれからも起こり得ることだと思います。

担任の先生が確認を失念してしまったとの報道でしたが、先生も大変だなという気もするし、その辺は今後どのように対応していこうと思っているのですか。

学務課長

今回の報道によりますと、除去食ということで、チーズを除いたものを提供したのですが、おかわりという段階で教員が、チーズが入っているものを提供してしまい児童がそれを食べて、アレルギー症状が出て死亡に至ったと報道されている状況でございます。

本区における学校給食の提供にあたっての安全管理上の対策でございますけれども、調理過程の中での、安全確認というものは当然でございますが、子どもが教室において口にするまでの間では、例えば、給食のトレーの色を変えることやトレーには名札を付け、名前を明記してラップをかけて提供するなどの対策を行っている状況でございます。

おかわりという部分では、中央区の場合、当然ながら食材料費1食分をつくっておりますから、児童の1食分と除去食を提供しておりますので、おかわり分の用意はあらかじめしておりません。今回の調布市においても、おかわり分の用意は無かったということも聞いておりますが、休んでいる子どもの分なのか余りの分を児童の顔を確認しないで渡してしまったということではないかなと考えられるので、他の学校でも起きることもあり得るのではな

いかなということ、確かにおっしゃるとおりでございます、そういったことの事故がないように、迅速に東京都からも事故が起きた後すぐに通知がまいります、区としてもすぐに学校へ通知をさせていただきました。また、年末に国からの通知がありましたので、教職員の方々にもそういったアレルギーに対する認識を新たにすよう周知をしていただくということのお願いと、調理過程上の安全対策の徹底について、学校に通知をしたところでございます。

国において食物の関連では、ガイドラインが出ておまして、その中では、重度のアレルギーのお子さんについては、医師の処方によりエピペンという自己注射薬が提供される場合がございます。現在、幼稚園で1名、小学校及び中学校でそれぞれ3名のお子さんがエピペンを持参しているという状況でございます。エピペンはあくまでも自己注射薬ですが、症状によっては、お子さんが自ら打てないということも考えられますので、東京都におきましては、平成21年から、教職員の方々を対象に研修を行っておりまして、21年度の当初の研修では、学校の養護教諭全員がその研修を受講しております、他の養護教員以外の方々の研修も順次行っている状況です。

教職員の方々にも認識を新たにさせていただいて、事故を防いでいけるようあらためて通知をさせていただいたところです。

松川委員

私も今朝の報道で知る限りなのですが、今回の件については、システム的にはアレルギー対策はかなりきちんとされていた。調理員さんが直接にその子どもに調理したものを持っていっています。それから、おかわりする場合も、おかわりしていいものと悪いものが、データとして担任に行き渡っています。ですから、何をあげてもいいよ、何をあげてはいけないよというのがはっきりしています。問題だったのは、保護者からアレルギーの内容について、何を食べていいのか悪いのかというのを別に出してもらっていて、担任は本来、日々の給食調理員からのデータに基づいておかわりの対応をしなければいけなかったところが、保護者からのデータを見て判断してしまった。保護者からのデータには、チヂミが載ってなかったので出してしまったということで、丁寧に調理担当や行政側のデータ、それから、保護者からのデータも集めているのですけれども、内容が違うデータが2つ存在したことがこの事故の原因であると思います。本来は、1つのデータで対応していれば、誤りは生じなかったのではないかと感じています。システム的にきちんとつくっても幾つかデータがあって、どれを使用するか基本的には決めていたようなのですが、違うデータで対応する形になったというところが、今回の事故に至ってしまったものと思いますので、システムをつくったときには、データは統一されたものでなければいけない、サブデータはサブデータ

であってもいいと思うのですけれども、どれで対応するかというのは、今回のアレルギー問題だけではなくて、いろいろな面できちんとしていかなければいけないと感じているところです。

委員長　　ちなみに、食物アレルギー反応を起こす児童というのは、毎年多くなっているのですか。

学務課長　　今、冒頭申し上げましたが、やはりいろいろな食材によりまして、アレルギー反応がある子どもの数については、年々増えている状況でございます。

ただし、幼児のときに非常にその傾向が強くても、成長していく過程で体に耐性ができてきて、食べられるようになるということは多いと思います。

比率的に見ても本区の場合、先ほど、小学校で129名の除去食対応をしていると述べましたが、全体の児童の割合でいうと2.8%でございます。中学校では、11名が除去食で0.7%という対応になっておりますので、年齢が上がるごとに比率は減っています。

委員長　　アレルギーで亡くなってしまうというのは怖いです。

ほかにご質問ご意見等ございませんか。よろしいですか。

(「なし」の声あり)

委員長　　ご意見等ないようでございますので、これで本日の委員会を閉会といたします。

ありがとうございました。

午後4時21分 永嶋委員長閉会宣言

署名委員